



## 明けましておめでとうございます

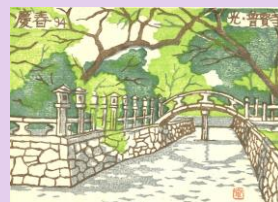
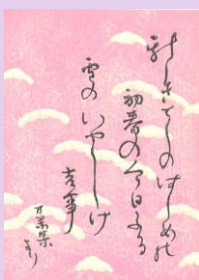
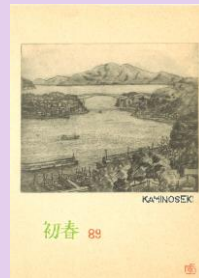
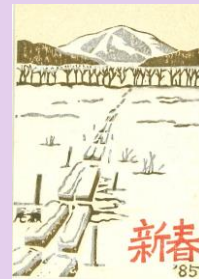
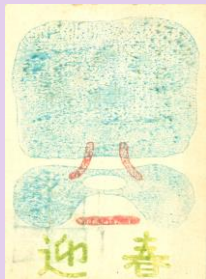


本年もどうぞよろしくお願いたします。

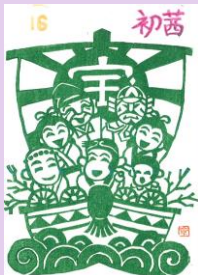
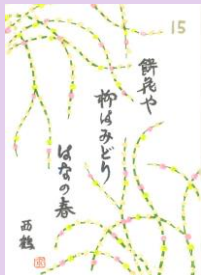
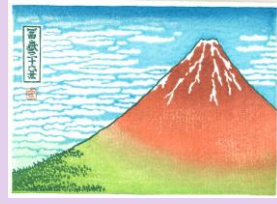
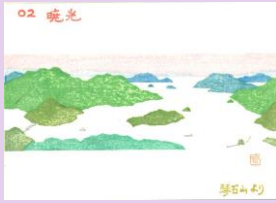
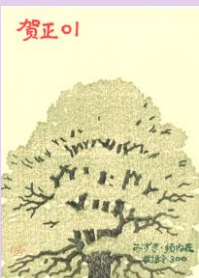
2024年、令和6年、辰年が清々しく明けました。無事、新年を迎えることができ喜ばしいことです。

昨年12月には政治関係と車関係のよくないニュースが報じられました。それらの記事に触れ、物に対しても人間同士の付き合いにしても、誠実であるということが大切だと再認識しました。今年出会う物へも人へも誠実な対応を心がけたいと思います。

さて、上記の年賀状は自作の木版画です。子どものころから木版画で制作することが多かったのですが、二十代のとき、山口県立美術館の講座で浮世絵版画の技法を習って以来毎年制作しています。年賀欠礼の年も挨拶状を作りまして40年以上続けています。これはちょっと自画自賛してもいいかなと思っています。このたび、保管してきたものをこのたよりで全て紹介してみようと思い立ちました。







右には今年の輪飾りを紹介しています。毎年、ウラジロは裏山に登って直接手に入れていたのですが、今年は熊の出没のニュースが頻繁に報じられ、少々怖いので取り止めました。緑が少なく彩りに欠けますが、お許してください。

○ 自画自賛



上記のとおり